

地図とデータで見る

筑波大学

リーフレット



筑波大学

University of Tsukuba

1 沿革・校章・ブランドスローガン

■ 沿革

筑波大学は、東京教育大学の移転を契機に、そのよき伝統と特色を生かしながらも、大学に対する内外からのいろいろな要請にこたえるため、わが国ではじめて抜本的な大学改革を行い、1973年（昭和48年）10月に「開かれた大学」「教育と研究の新しい仕組み」「新しい大学自治」を特色とした総合大学として発足しました。本学は大学改革の先導的役割を果たしつつ、教育研究の高度化、大学の個性化、大学運営の活性化など、活力に富み、国際競争力のある大学づくりを推進しています。

■ 校章



筑波大学の校章「五三の桐葉型」は、1903（明治36）年に改定された東京高等師範学校生徒徽章に始まり、1949（昭和24）年制作の東京教育大学学生バッジにも受け継がれました。1974（昭和49）年本学評議会において「紋章については東京教育大学の伝統を引き継ぎ」桐の葉とすることが了承されました。「五三の桐」と呼ばれる図形には、我が国の伝統的な紋章一般がそうであるように多くのヴァリエーションがありますが、本学の校章は花の部分のみ「蔭」（アウトライン）で表される独特のものです。

校章の色は、スクールカラーのつくば紫です。

■ ブランドスローガン

欧文

和文

IMAGINE THE FUTURE. 開かれた未来へ。

開学からの理念である開かれた大学として、教育、研究をはじめあらゆる面で想像して未来を開く視点から、筑波らしさを IMAGINE THE FUTURE. と表現しました。

2 教育組織

10学群・23学類・1学位プログラム・総合学域群

学群	学類
人文・文化学群	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類
社会・国際学群	社会学類、国際総合学類
人間学群	教育学類、心理学類、障害科学類
生命環境学群	生物学類、生物資源学類、地球学類
理工学群	数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類、総合理工学位プログラム
情報学群	情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
医学群	医学類、看護学類、医療科学類
体育専門学群	
芸術専門学群	
学際サイエンス・デザイン専門学群 (令和6年9月開設)	
総合学域群 ^{注1)}	

注1) 総合選抜で入学した学生は1年次は総合学域群に在籍し、1年間の学びの後、所属する学類・専門学群が決まります。なお、体育専門学群及び学際サイエンス・デザイン専門学群へは所属できません。

大学院3学術院・6研究群+6専攻・56学位プログラム

人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群 (3学位プログラム)

人文学、国際公共政策、国際日本研究

ビジネス科学研究群 (2学位プログラム)

法学、経営学

法曹専攻

国際経営プロフェッショナル専攻

理工情報生命学術院

数理工物質科学研究群 (5学位プログラム)

数学、物理学、化学、応用理工学、国際マテリアルズイノベーション

システム情報工学研究群 (8学位プログラム)

社会工学、サービス工学、リスク・レジリエンス工学、情報理工、知能機能システム、構造エネルギー工学、エンパワーメント情報学、ライフイノベーション (生物情報)

生命地球科学研究群 (12学位プログラム)

生物学、生物資源科学、農学、生命農学、生命産業科学、地球科学、環境科学、環境学、山岳科学、ライフイノベーション (食科革新、環境制御、生体分子材料)

国際連携持続環境科学専攻

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群 (26学位プログラム)

教育学、心理学、障害科学、カウンセリング、カウンセリング科学、リハビリテーション科学、ニューロサイエンス、医学、看護科学、フロンティア医科学、公衆衛生学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルス、スポーツ医学、体育学、スポーツ・オリンピック学、体育科学、コーチング学、スポーツウエルネス学、芸術学、デザイン学、世界遺産学、情報学、ヒューマンバイオロジー、ライフイノベーション (病態機構、創薬開発)

スポーツ国際開発学共同専攻

大学体育スポーツ高度化共同専攻

国際連携食料健康科学専攻

グローバル教育院

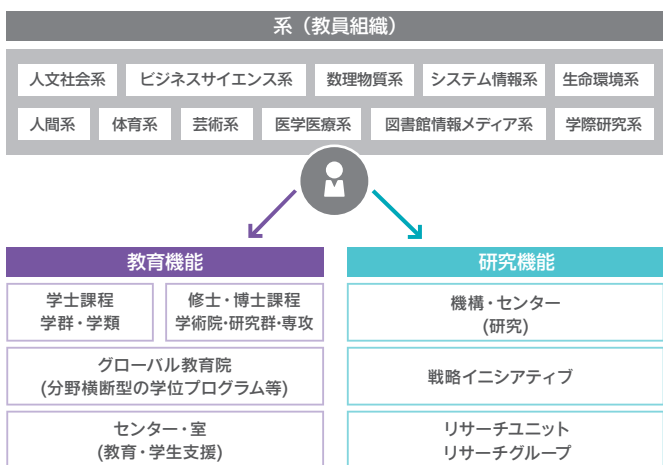
ヒューマニクス学位プログラム (博士)

地球規模課題学位プログラム (学士)

3 教員組織と教職員数

■ 筑波大学独自の教員組織「系」

教員は「系」に所属し、基盤的な研究を行いつつ、学群・学類、学術院・研究群・専攻、センター等それぞれの教育研究組織の目的に即した教育研究を担います。教員の所属組織を個々の教育研究組織から独立させることにより、各教育研究組織に異なる分野の教員が参画することが可能になり、学際融合・領域横断的な教育研究、新たな教育研究プログラムの創出を柔軟に行うことができます。



■ 教職員数

		総数	内女性数	内外国人数	内外国人数の 女性数
学長・副学長		11	3	0	0
教員	教授	541	70	14	4
	准教授	523	101	48	17
	講師	196	41	1	0
	助教	496	139	82	32
	附属学校教員	547	260	3	2
	合計	2,314	614	148	55
職員	事務系	1,175	756	22	17
	技術技能系・医療系	1,945	1,385	14	10
	合計	3,120	2,141	36	27
総合計		5,434	2,755	184	82

※令和6年5月1日現在

4 学生数 (学群・学類)

※令和6年5月1日現在

総数 男子 女子

人文・文化学群

人文学類	487	279	208
比較文化学類	336	120	216
日本語・日本文化学類	121	40	81

社会・国際学群

社会学類	340	199	141
国際総合学類	356	165	191

人間学群

教育学類	149	79	70
心理学類	220	79	141
障害科学類	152	38	114

生命環境学群

生物学類	312	169	143
生物資源学類	500	254	246
地球学類	208	147	61

理工学群

数学類	162	143	19
物理学類	262	220	42
化学類	203	142	61
応用理工学類	484	412	72
工学システム学類	532	477	55
社会工学類	491	390	101
総合理工学位プログラム	34	26	8

情報学群

情報科学類	368	334	34
情報メディア創成学類	241	200	41
知識情報・図書館学類	443	259	184

医学群

医学類	824	533	291
看護学類	313	15	298
医療科学類	152	43	109

体育専門学群

1,039	735	304
-------	-----	-----

芸術専門学群

447	93	354
-----	----	-----

グローバル教育院

23	8	15
----	---	----

総合学域群

435	317	118
-----	-----	-----

合計

9,634	5,916	3,718
-------	-------	-------

4 学生数(大学院)

■ 学術院(令和2年度開設)

※令和6年5月1日現在

総数 男子 女子

人文社会ビジネス科学学術院

人文社会科学研究群	475	217	258
ビジネス科学研究群	242	182	60
法曹専攻	121	80	41
国際経営プロフェッショナル専攻	75	50	25

理工情報生命学術院

数理物質科学研究群	843	692	151
システム情報工学研究群	1,477	1,237	240
生命地球科学研究群	1,050	614	436
国際連携持続環境科学専攻	16	9	7

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群	2,278	1,157	1,121
スポーツ国際開発学共同専攻	15	7	8
大学体育スポーツ高度化共同専攻	15	7	8
国際連携食料健康科学専攻	29	9	20

グローバル教育院

小計	59	39	20
----	----	----	----

■ 研究科(令和2年度学生募集停止)

※令和6年5月1日現在

総数 男子 女子

人文社会科学研究科

ビジネス科学研究科

数理物質科学研究科

システム情報工学研究科

生命環境科学研究科

人間総合科学研究科

図書館情報メディア研究科

グローバル教育院

小計	393	245	148
----	-----	-----	-----

■ 合計

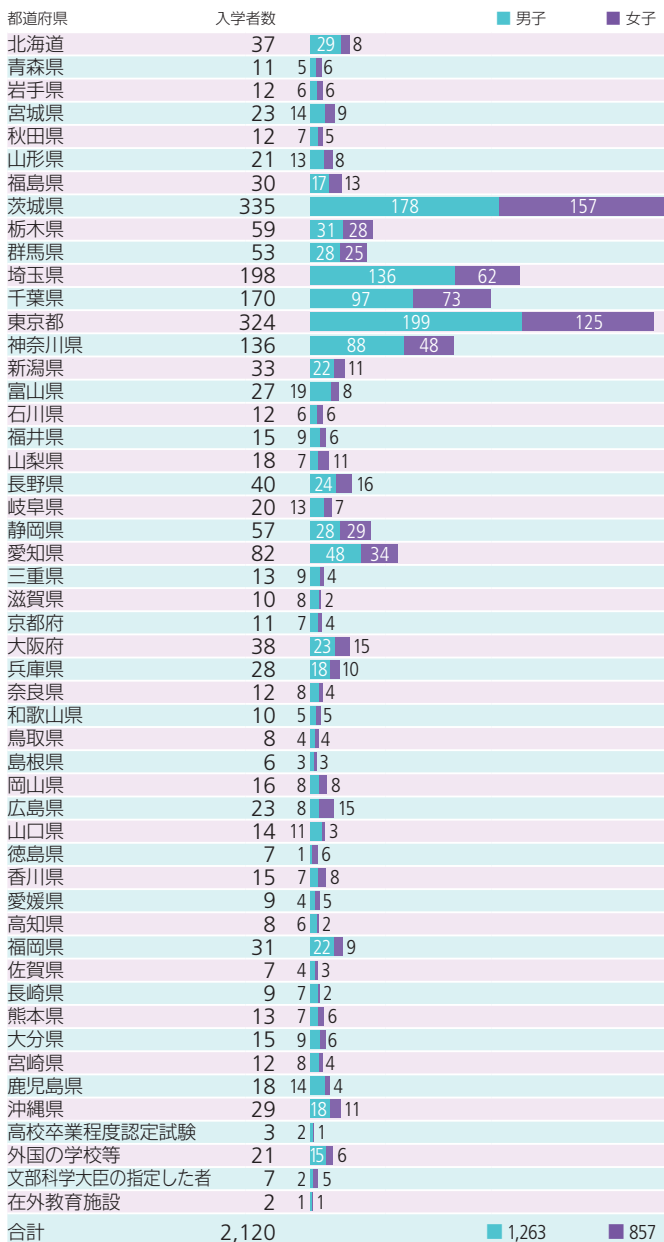
7,088 4,545 2,543

5 都道府県別入学者数（学群）

令和6年度データ

※令和6年5月1日現在

入学者の都道府県別内訳は、関東圏を中心に、全国から集まっています。



6 卒業生の進路

令和5年度 学群・学類の卒業生の進路(実数)

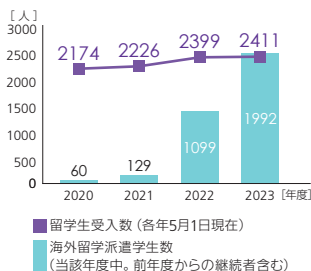
※令和6年5月1日現在, () は女子内数

学群・学類	卒業者	就職者	就職者の内訳 (%)				進学者	その他	
			企業	教員	公務員等	独法 研修医			
人文・文化学群									
人文学類	111(53)	71(37)	75%		10%	15%	22(7)	18(9)	
比較文化学類	80(58)	61(46)	82%		5%	13%	12(8)	7(4)	
日本語・日本文化学類	40(30)	31(24)	68%		10%	22%	4(4)	5(2)	
社会・国際学群									
社会学類	87(35)	61(22)	85%			15%	13(8)	13(5)	
国際総合学類	59(33)	39(20)	92%			8%	13(8)	7(5)	
人間学群									
教育学類	40(22)	26(15)	88%			12%	12(6)	2(1)	
心理学類	49(36)	33(23)	85%			15%	12(9)	4(4)	
障害科学類	35(23)	19(15)	69%		5%	26%	13(8)	3(0)	
生命環境学群									
生物学類	83(42)	12(8)	75%		8%	17%	65(32)	6(2)	
生物資源学類	136(73)	26(15)	81%		4%	15%	103(55)	7(3)	
地球学類	56(18)	9(3)	78%		11%	11%	42(12)	5(3)	
理工学群									
数学類	37(4)	14(3)	86%			14%	19(1)	4(0)	
物理学類	56(9)	10(2)	90%			10%	42(6)	4(1)	
化学類	49(13)	2(1)	50%		50%		46(12)	1(0)	
応用理工学類	129(11)	11(1)	82%			18%	116(9)	2(1)	
工学システム学類	125(9)	12(1)	100%				112(8)	1(0)	
社会工学類	132(34)	45(18)	84%			16%	78(14)	9(2)	
総合理工学位プログラム	3(0)	1(0)	100%				0(0)	2(0)	
情報学群									
情報科学類	91(8)	25(4)	100%				64(3)	2(1)	
情報メディア創成学類	58(11)	16(3)	100%				40(8)	2(0)	
知識情報・図書館学類	106(46)	77(36)	81%		1%	18%	21(8)	8(2)	
医学群									
医学類	136(49)	132(48)	11%		89%		1(0)	3(1)	
看護学類	77(76)	63(63)	81%		3%	16%	9(9)	5(4)	
医療科学類	38(25)	14(11)	93%		7%		23(14)	1(0)	
体育専門学群									
体育専門学類	250(76)	183(54)	85%		10%	5%	48(17)	19(5)	
芸術専門学群									
芸術専門学類	97(75)	51(41)	90%		6%	4%	40(29)	6(5)	
グローバル教育院									
グローバル教育院	9(7)	5(3)	100%				2(2)	2(2)	
合計	2,169(876)	1,049(517)	75%		4%	10%	11%	972(297)	148(62)

7 国際交流

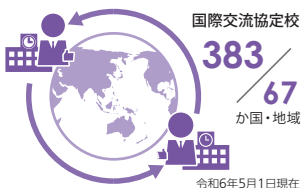
留学生の受入

本学は、100を超える国・地域から留学生を受け入れています。英語のみで学位が取得できる多くのプログラムを提供する一方、レベルに合わせたきめ細やかな日本語教育が受けられることも特徴です。



学生の海外留学

交流協定校は383校にもおよび、国別では米国が最も多く、フランス、台湾の順となっています。派遣学生の比率は学群生が約35%、大学院生が約65%です。



筑波大学海外オフィス所在地

12か国・地域、14か所に点在する海外オフィス



Campus-in-Campus(CiC) 協定機関

Campus in Campus (CiC) 構想とは、CiC 協定を締結した海外の大学 (CiC パートナー大学) と本学との間で、学生、教員、研究者、職員が大学の壁を超えて活動するために、研究教育資源を相互に利活用することを目指すものです。

令和6年5月現在、Campus in Campus パートナー大学は下記のとおりです。

ホルドー大学(フランス) / 国立台湾大学(台湾) / サンパウロ大学(ブラジル) / マレーシア工科大学(マレーシア) / カリフォルニア大学アーバイン校(米国) / ユトレヒト大学(オランダ) / グルノーブル・アルプ大学(フランス) / オハイオ州立大学(米国) / ボーフム大学(ドイツ) / アルファラビ・カザフ国立大学(カザフスタン) / インド工科大学グワハティ校(インド) / 国立成功大学(台湾) / ルーヴェン・カトリック大学(ベルギー)

8 研究成果

■ ノーベル賞受賞者

物理学賞（1965年）**朝永 振一郎**（東京教育大学元学長、東京教育大学名誉教授）

「量子電気力学、とくに超多時間理論およびくりこみ理論の展開」

物理学賞（1973年）**江崎 玲於奈**（本学元学長、本学名誉教授）

「半導体内及び超伝導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」

化学賞（2000年）**白川 英樹**（本学名誉教授）

「導電性ポリマーの発見と開発」

■ 学術論文の高被引用論文数

大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして学術論文の被引用数があります。クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関2024年版」によれば、2013年1月1日～2023年12月31日の11年間の高被引用論文数は、国内11位にランキングされています。

高被引用論文とは、被引用数が世界の上位1%に入る卓越した論文です。

国内研究機関の総合分野トップ20

順位	機関名	高被引用論文数	割合
1	東京大学	1,656	1.6%
2	京都大学	1,007	1.4%
3	国立研究開発法人 理化学研究所	694	2.3%
4	大阪大学	579	1.1%
5	東北大学	552	1.0%
6	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	551	3.2%
7	名古屋大学	492	1.2%
8	九州大学	469	1.2%
9	北海道大学	401	1.0%
10	国立研究開発法人 国立がん研究センター	389	3.7%
11	筑波大学	324	1.2%
12	東京工業大学	310	1.1%
13	慶應義塾大学	301	1.2%
14	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	289	1.1%
15	広島大学	263	1.1%
16	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	238	1.7%
17	神戸大学	229	1.1%
18	早稲田大学	203	1.3%
19	岡山大学	193	1.1%
20	近畿大学	185	2.3%

9 外部資金

令和5年度大学別科研費採択件数

順位	機関名	採択件数 (新規+継続)	新規件数	順位	機関名	採択件数 (新規+継続)	新規件数
1	東京大学	3,948	1,367	6	名古屋大学	1,712	512
2	京都大学	2,933	914	7	北海道大学	1,687	551
3	大阪大学	2,579	854	8	筑波大学	1,363	431
4	東北大学	2,325	732	9	広島大学	1,193	363
5	九州大学	1,994	594	10	神戸大学	1,117	375

※文部科学省「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」(令和5年12月)より

※主要種目のみの公表

※研究代表者が所属する研究機関により整理

令和5年度科研費 主な採択区分

思想、芸術(およびその関連分野;以下同じ)/文学、言語学/地理学、文化人類学、民俗学/社会学/教育学/心理学/素粒子、原子核、宇宙物理学/天文学/社会システム工学、安全工学、防災工学/無機・錯体科学、分析化学/生体分子化学/農芸化学/生産環境農学/社会経済農学、農業工学/個体レベルから集団レベルの生物学と人類学/神経科学/ブレインサイエンス/社会医学、看護学/スポーツ科学、体育、健康科学/情報科学、情報工学/人間情報学/応用情報学/環境保全対策

※文部科学省「令和5年度科学研究費助成事業の配分について」(令和5年12月)より

※本学が「科研費中区分別採択件数(過去5年間の新規採択の累計数)」上位10位以内のもの

令和5年度外部資金受入実績

区分	件数	受入金額(単位:千円)
科学研究費助成事業(内定額)(代表のみ)	1,548	4,577,894
受託研究※(治験含む)	791	6,754,507
共同研究※	616	2,384,677
寄附金(学術研究関係)及び研究助成金	646	1,806,153

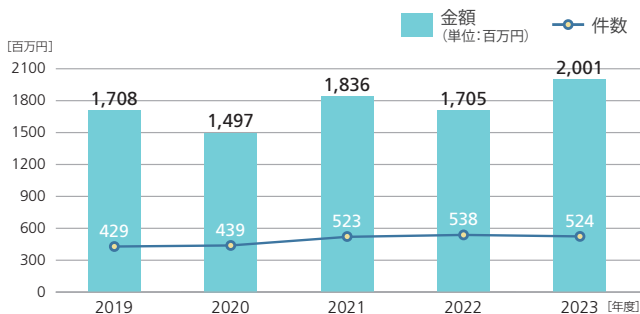
※受託研究及び共同研究の受入金額は、外部資金課、産学連携企画課、T-CREDOの合算

令和5年度の代表的な外部資金獲得例

事業名	プロジェクト名	代表研究者
科研費 特別推進研究	分子組織化に立脚した 革新的医薬品の分子設計	数理物質系 長崎 幸夫(教授)
科研費 国際共同研究加 速基金(国際先導研究)	睡眠の謎に挑む:睡眠神経科学者の グローバルネットワーク構築	国際統合睡眠医科学研究機構 柳沢 正史(機構長:教授)
AMED 再生医療・遺伝子治療の 産業化に向けた基盤技術開発事 業(再生医療技術を応用した高 度な創薬支援ツール技術開発)	製品化戦略に基づいた、国産 MPSによる創薬プラットフォーム の実証研究	生命環境系 伊藤 弓弦(教授)
内閣府 戦略的イノベーション 創造プログラム(SIP)	地域住民の包摂性向上と妊婦・ 子育て女性のWell-being最大 化に向けた社会技術の開発	人文社会系 松島 みどり(准教授)
農研機構 生研支援セン ター 戦略的スマート農 業技術の開発・改良	AIを活用したスマート除草シス テムの開発	システム情報系 延原 肇(教授)

10 産学官連携・大学発ベンチャー

筑波大学の国内民間共同研究受入額

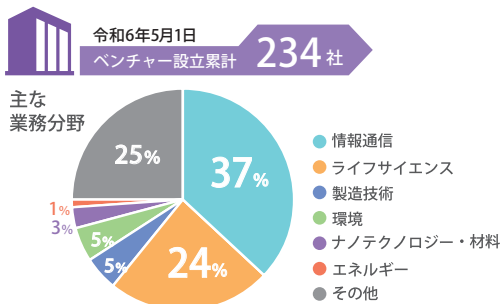


開発研究センター

社会還元型の研究を推進し、イノベーション創出を促進するために、外部資金等を事業運営費として、社会的要請の高い学問分野での共同研究開発を積極的に推進し、産学官の共同研究体制を構築する組織です。令和6年4月1日現在12(設置累計14)の開発研究センターが国際産学連携本部の下に開設されています。

- ・プレジジョン・メディスン開発研究センター
- ・スポーツイノベーション開発研究センター
- ・未来社会工学開発研究センター
- ・ヘルスサービス開発研究センター
- ・テラーメイド QOL プログラム開発研究センター
- ・働く人への心理支援開発研究センター
- ・イノベティブ計測技術開発研究センター
- ・革新的創薬開発研究センター
- ・デジタルネイチャー開発研究センター
- ・スマートウエルネスシティ政策開発研究センター
- ・健幸ライフスタイル開発研究センター
- ・ゼロCO₂エミッション機能性材料開発研究センター

筑波大学発のベンチャー企業



筑波大学発ベンチャーの資金調達

各ベンチャー企業の活躍により、資金調達額は急速に拡大し、2018年度以降で440億円を超える規模になっています。

11 社会貢献・地域連携

■ つくば国際戦略総合特区

2011年、つくば市は国際戦略総合特区に指定されました。つくば地域の大学・研究機関の集積を生かし、生活や環境の分野でイノベーションを進め短期間で新産業につなげる計画です。国際戦略総合特区に指定された地域では、国や地方自治体から規制の緩和や、財政、税制の支援を受けながら産業の振興を目指します。

現在9つのプロジェクトが進行中で、本学は8つのプロジェクトに参画しています。

- 次世代がん治療(BNCT)の開発実用化
- 生活支援ロボットの実用化
- 藻類バイオマスエネルギーの実用化
- TIA 世界的イノベーションプラットフォームの形成
- つくば生物医学資源を基盤とする革新的医薬品・医療技術の開発
- 核医学検査薬(テクネチウム製剤)の国際化
- 革新的ロボット医療機器・医療技術の実用化と世界的拠点形成
- 戦略的都市鉱山リサイクルシステムの開発実用化
- 植物機能を活用したヒトの健康増進に資する有用物質生産システムの開発事業化

■ 高大連携

筑波研究学園都市という立地や総合大学という特性を生かし、高大連携活動を支援しています。高校生の人材育成に貢献するために、最前線で活躍する本学教員を派遣する出前講義や大学の授業が体験できる模擬授業等があります。

■ 社会貢献プロジェクト

「科学振興(3件)」「国際(2件)」「文化・地域活性化(11件)」「環境(4件)」「健康・医療・福祉(5件)」等、幅広い学問分野を持つ本学ならではの取り組みを展開しています。

令和6年度社会貢献プロジェクト例

分野	プロジェクト名
文化・地域活性化	つくば多言語・多文化背景を持つ子どもたちの教育支援プロジェクト
環境	地元に生息する希少種を救え(長野県南牧村)
健康・医療・福祉	発達障害医療に関する当事者向けパンフレット「発達障害の薬はじめてガイド」

12 収支予算

令和6年度筑波大学当初予算

産学連携等研究収入及び
寄附金収入等

16,338百万円
15.0%

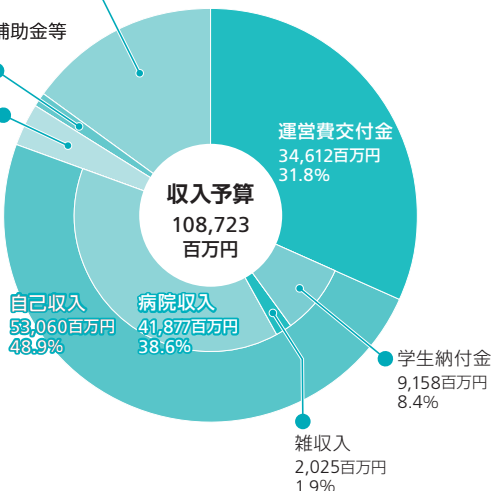
施設整備費補助金等

1,227百万円
1.1%

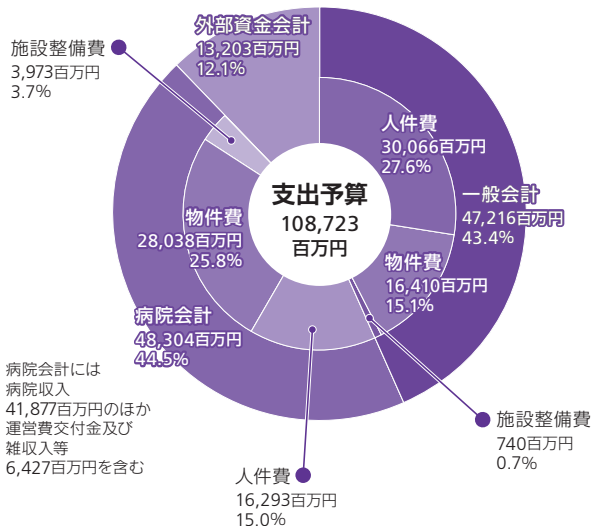
長期借入金

3,486百万円
3.2%

収入



支出



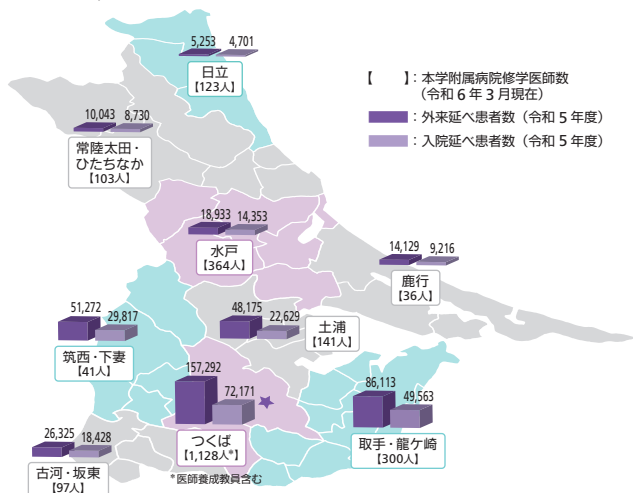
13 附属病院

高度先端医療の提供

県内唯一の特定機能病院(全国88病院)として、陽子線を用いたがん治療、手術支援ロボット(ダヴィンチ)等の最先端機器を用いた手術等の高度先端医療に特化した診療を行っています。地域医療の最後の砦として、高度先端医療を必要とする患者を県内全域から受け入れ、地域医療に貢献しています。

医師の養成による地域医療の充実

医師不足・偏在等による地域医療の崩壊が起こることがないよう、県内唯一の医育養成機関(全国81機関)として、地域医療を担う人材の養成に取り組んでいます。本学医学類卒業生の約半数は県内で勤務し、県内医師数の1/3は本学附属病院修学医師です。



救急患者受入れ実績

県内唯一の高度救命救急センター(全国で47施設)として、県内の救命救急センターでは対応が難しい重篤患者を24時間で受入れて高度な医療を提供するとともに救急医の育成も担い、救急医療体制の強化に取り組んでいます。

	救急患者数	救急車搬送件数	ドクターヘリ搬送件数
令和3年度	7,489	3,134	49
令和4年度	8,172	3,759	37
令和5年度	7,790	3,780	32

14 附属学校

※令和6年5月1日現在

学校名／創立年 (所在地)	特色	児童・生徒数 (教員数)
附属小学校 明治6年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 教科担任制(32人クラス編成)による指導 学習公開・研究発表会(年2回、延べ5千人)における研究成果の発信 	751人 (教員 36人)
附属中学校 明治21年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 「言語活動」「体験学習」を重視した教科指導 生徒が一から創り上げる学校行事(富浦臨海学校、学芸発表会等) 	612人 (教員 30人)
附属高等学校 明治21年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の習得を徹底する教科教育、バランスのとれた教育課程 生徒中心の学校行事・学年行事(文化祭、スポーツ大会等) 	715人 (教員 47人)
附属駒場中・高等学校 昭和22年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 国内唯一の国立大学附属の中高一貫男子校、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)校(平成14年度～) 学校行事を通じた創造性とリーダーシップの育成(音楽祭、体育祭、文化祭、水田稲作) 	853人 (教員 45人)
附属坂戸高等学校 昭和21年 (埼玉県)	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科のバイオニア(平成6年度～)、国際バカロリア認定校(平成28年度～) 探究学習を中心とした教育課程 	477人 (教員 48人)
附属視覚特別支援学校 明治9年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 国内唯一の国立大学附属の視覚特別支援学校 触察による学び、児童・生徒が創り上げる学校行事(夏季学校、文化祭) 	155人 (教員 107人)
附属聴覚特別支援学校 明治8年 (千葉県)	<ul style="list-style-type: none"> 国内唯一の国立大学附属の聴覚特別支援学校 確かな日本語の獲得、教科学習及び生涯教育に関わる実践と研究 	185人 (教員 93人)
附属大塚特別支援学校 明治41年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害特別支援学校におけるモデルの教育課程開発 職業教育施設(えがおカフェ)の活用、日本人学校への遠隔支援等の取組 	67人 (教員33人)
附属桐が丘特別支援学校 昭和33年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 国内唯一の国立大学附属の肢体不自由特別支援学校 個別の指導計画に基づく各教科等及び自立活動の指導、ICTや自作の教材教具を活用した教育実践 	111人 (教員69人)
附属久里浜特別支援学校 昭和48年 (神奈川県)	<ul style="list-style-type: none"> 知的障害を伴う自閉症児に関する先導的教育研究 自閉症教育実践研究協議会の開催 	50人 (教員39人)
普通附属学校6校 特別支援学校5校	<ul style="list-style-type: none"> 国立大学附属学校として、全11校が研究成果の発信のための研究会・研修会を実施 	合計3,976人 (教員合計547人)

関連組織／創立年 (所在地)	特色	学生数 (教員数)
附属学校教育局 昭和53年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育に関する実際的的研究を行うとともに、附属学校11校を管理 ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)事業の推進、インクルーシブ教育の実践、朝永振一郎記念「科学の芽」賞の実施 心理・発達教育相談室の運営、特別支援教育連携推進グループの設置 	— (教員10人)
理療科教員養成施設 明治36年 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> 全国の視覚特別支援学校で理療を教える教員を養成する国内唯一の施設 視覚障害のある教員、学生が多数在籍 鍼灸治療室の運営(令和5年度利用者数 3,235人) 	21人 (教員4人)

15 附属図書館

利用者数 (令和5年度実績)

入館者総数	653,827 人
	1,890 人/日
貸出利用者数	82,573 人
	239 人/日
貸出冊数	212,543 冊
	614 冊/日

蔵書数 (令和6年3月31日現在)

図書	和書	1,703,166 冊
	洋書	1,048,290 冊
	電子ブック	42,583 タイトル
雑誌	和雑誌	17,925 タイトル
	洋雑誌	13,009 タイトル
	電子ジャーナル	37,409 タイトル



開館状況

筑波キャンパス		学期中	休業中
● 中央図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～20:00
	土・日・祝	9:00～20:00	9:00～18:00
● 体育・芸術図書館 ● 図書館情報学図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～17:00
	土・日・祝	10:00～18:00	休館
● 医学図書館	月～金	8:30～22:00	9:00～20:00 ※
	土・日・祝	9:00～22:00	

※ 2月と9月は学期中と同じ時間です。

東京キャンパス	月	火～金	土	日	祝
● 大塚図書館	10:30～18:30	10:00～21:10	10:00～19:50	10:00～18:00	休館

臨時休館・開館時間の変更等は、図書館 web サイト等でお知らせいたします。

IMAGINE THE FUTURE.

地図とデータで見る
筑波大学リーフレット

編集・発行 筑波大学広報局

住所 茨城県つくば市天王台 1-1-1
〒305-8577

2024年10月発行



www.tsukuba.ac.jp

16 施設配置図

筑波キャンパスは、南北に約5キロ、東西に約1キロに及び約258ヘクタールの敷地を有しています。また、東京キャンパス文京校舎には、附属学校教育局と社会人対象の大学院等を設置しています。

アクセス

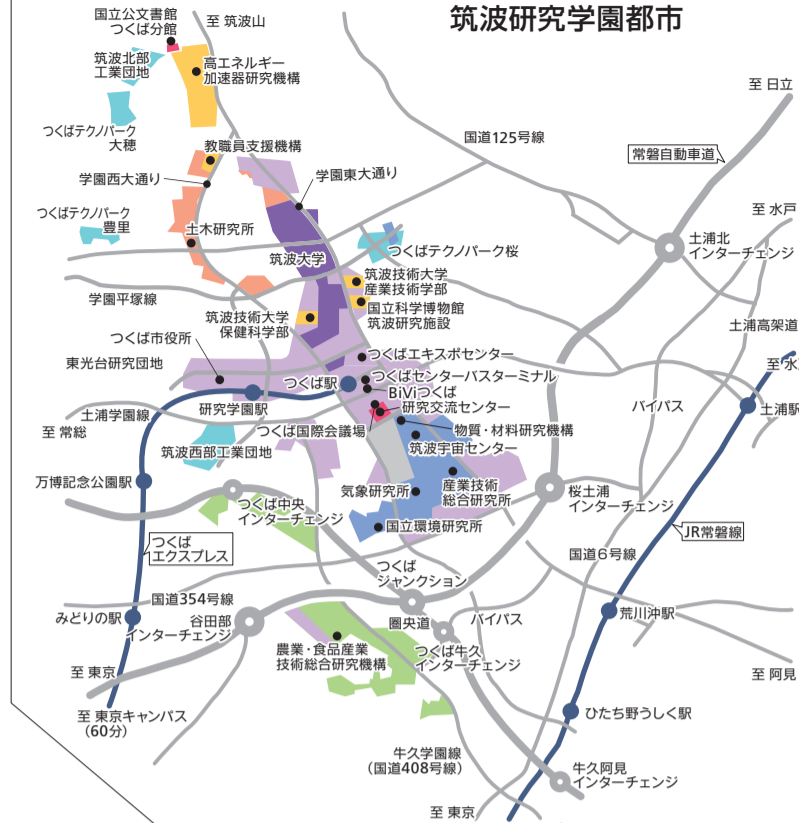


筑波キャンパス

エリア名	施設名称
東エリア	1 厩舎・第2厩舎
農林技術(農場)エリア	2 つくば機能植物イノベーション研究センター(農場)
一の矢学生舎	3 一の矢学生舎
エリア	4 一の矢生活センター
実験センター	5 放射線・アイソトープ地球システム研究センター(環境動態予測部門)
エリア	6 TARAセンター
第三エリア	7 産学リエゾン共同研究センター
東エリア	8 バイオ・マテリアル植物生産研究棟
第三エリア	9 プラズマ研究センター
東エリア	10 リサーチユニット 藻類バイオマス・エネルギーシステム
第三エリア	11 エンバワースタジオ
東エリア	12 研究基盤総合センター(工作部門)
第三エリア	13 研究基盤総合センター(低温部門)
東エリア	14 放射線・アイソトープ地球システム研究センター(応用加速器部門)
第三エリア	15 共同研究棟C
東エリア	16 研究基盤総合センター(分析部門)
第三エリア	17 プロジェクト研究棟
東エリア	18 放射線・アイソトープ地球システム研究センター(放射線研究部門)
第三エリア	19 筑波大学アーカイブズ、中央機械室
東エリア	20 第3体育館
第三エリア	21 3A~3D・G、3K、3L棟/システム情報エリア支援室
東エリア	22 工学系学系棟
第三エリア	23 理科系棟
東エリア	24 共同研究棟D
第三エリア	25 総合研究棟B
東エリア	26 サイバニクス研究棟
第三エリア	27 つくば機能植物イノベーション研究センター(遺伝子実験センター)
東エリア	28 生物・農林学系棟
第三エリア	29 第1体育館
東エリア	30 総合研究棟A
第三エリア	31 2A~2E、2G、2H棟/生命環境エリア支援室、人間エリア支援室
東エリア	32 文科系学系棟
第三エリア	33 人間系学系棟
東エリア	34 環境防災研究棟/山岳科学センター
第三エリア	35 中央図書館
東エリア	36 人文社会学系棟
第三エリア	37 共同利用棟A
東エリア	38 共同研究棟A
第三エリア	39 共同利用棟D
東エリア	40 1D~1G棟/スチューデントプラザ
第三エリア	41 1A~1C、1H棟/人文社会エリア支援室、数理物質エリア支援室、スチューデント commons、総合学域群アカデミックサポートセンター
東エリア	42 文科系サークル会館
第三エリア	43 自然系学系棟
東エリア	44 計算科学研究センター
第三エリア	45 本部棟、本部アネックス棟
本部棟	46 講堂
東エリア	47 学生会館、筑波大学ギャラリー、筑波大学アートのスペース
第三エリア	48 総合交流会館
東エリア	49 学生会館日棟
第三エリア	50 学術情報メディアセンター
東エリア	51 グローバルコミュニケーション教育センター
第三エリア	52 保健管理センター
東エリア	53 国際講義棟
第三エリア	54 芸術学系棟
東エリア	55 5C棟/体育芸術エリア支援室
第三エリア	56 共同研究棟B
東エリア	57 体育科学系棟
第三エリア	58 体育総合実験棟
東エリア	59 6A、6B棟
第三エリア	60 芸術学系工房棟
東エリア	61 アート&デザイン実習室
第三エリア	62 体育・芸術図書館
東エリア	63 中央体育館
第三エリア	64 T-Dome
東エリア	65 スポーツ流体工学実験棟
第三エリア	66 体芸食堂
東エリア	67 グローバルスポーツイノベーション棟
第三エリア	68 体育センター、体育系サークル会館
東エリア	69 屋内プール
第三エリア	70 武道館
東エリア	71 球技体育館
第三エリア	72 開学記念館
東エリア	73 総合研究棟D
第三エリア	74 弓道場
東エリア	75 体育合宿所
第三エリア	76 クラブハウス
東エリア	77 課外活動練習施設

その他の施設

埼玉県	戸田艇庫・合宿所
千葉県	館山研修所
山梨県	山中共同研修所
長野県	八ヶ岳演習林
静岡県	菅平高原実験所 井川演習林 下田臨海実験センター



エリア名	施設名称
医学エリア	78 医学地区中央機械室
医学エリア	79 睡眠医学研究棟
医学エリア	80 4B棟、4C棟、4D棟
医学エリア	81 生命科学動物資源センター
医学エリア	82 4E棟
医学エリア	83 共同利用棟B
医学エリア	84 医学系RI研究棟
医学エリア	85 医学系学系棟
医学エリア	86 附属病院
医学エリア	87 4A棟/医学医療エリア支援室
医学エリア	88 医学科学棟
医学エリア	89 医学図書館、臨床講義室
医学エリア	90 医学食堂
医学エリア	91 第2体育館
医学エリア	92 陽子線医学利用研究センター
医学エリア	93 健康医学イノベーション棟
医学エリア	94 つくば臨床検査教育・研究センター
医学エリア	95 次世代分子イメージングAIC画像検査センター
医学エリア	96 防災・感染症管理棟
平砂学生舎	97 平砂生活センター
平砂学生舎	98 平砂学生舎
平砂学生舎	99 グローバルヴィレッジ
平砂学生舎	100 レジデント宿泊施設
追越学生舎	101 追越生活センター、ゆりのき保育所
追越学生舎	102 追越学生舎
追越学生舎	103 外国人教師等宿泊施設
春日エリア	104 7A棟
春日エリア	105 春日学生舎 春日1号棟、春日2号棟
春日エリア	106 高細精医療イノベーション棟
春日エリア	107 春日講堂
春日エリア	108 7B棟、7C棟/図書館情報エリア支援室
春日エリア	109 図書館情報学図書館
春日エリア	110 7D棟
春日エリア	111 第4体育館
春日エリア	112 春日弓道場
春日エリア	113 情報メディアユニオン
春日エリア	114 春日学生舎 春日3号棟
春日エリア	115 春日福利厚生棟
春日エリア	116 グローバルゲストハウス

東京キャンパス

施設名称	
文京校舎	117 大塚図書館 社会人大学院等支援室 附属学校教育局 東京キャンパス事務局 理療科教員養成施設 事業・ファイナンス局資産運用・ファイナンス室
附属学校	東京都 附属小学校、附属中学校、附属高等学校、附属駒中・高等学校、附属視覚特別支援学校、附属大塚特別支援学校、附属桐が丘特別支援学校
埼玉県	附属坂戸高等学校
千葉県	附属聴覚特別支援学校
神奈川県	附属久里浜特別支援学校

